

公益社団法人日本医学放射線学会

放射線診断専門医制度規程

	昭和41年4月1日施行
第1回改正	昭和56年4月3日
第2回改正	昭和62年4月2日
第3回改正	平成元年4月5日
第4回改正	平成4年4月4日
第5回改正	平成11年4月1日
第6回改正	平成18年4月7日
第7回改正	平成21年5月1日
第8回改正	平成27年4月16日

第1章 総 則

目的

第1条 放射線診断専門医制度（以下「診断専門医制度」）は、放射線診断領域を専門とし、高い水準の放射線診断能力を備えた放射線診断専門医（以下「診断専門医」）を認定することにより、放射線診療・放射線医学の向上発展に資し、医療および保健衛生の向上ならびに放射線障害の防止により、国民の福祉に寄与することを目的とする。

第2条 診断専門医とは、放射線科全般に及ぶ知識と経験を一定レベル以上有すると認められる者に与えられる放射線科専門医（以下「専門医」）資格を取得した上で、診断領域に関してさらに高水準の専門的知識と技術を有すると認められる放射線科医である。なお、専門医に関しては、「放射線科専門医」規程に、別途定める。

診断専門医医師像と役割

第3条 診断専門医は、画像診断（X線、CT、MRI、超音波等）、核医学、インターベンショナルラジオロジー（IVR）の専門的知識と診療技術を有し、この知識と技術に基づいた検査の選択、検査の指示・実施・管理等を行う。得られた画像情報から全身の様々な疾患の状態を解析し、結果を主治医に正確に伝える能力を有する。また、画像情報をもとに、カテーテル等を用いたIVRを行なう能力も備えている。放射線や磁気・超音波に関する有用性、危険性、安全管理に関する広い知識も身につけており、これらの専門的知識と練磨された技術を活用し、安全で高水準の医療を提供する。

診断専門医の認定

第4条 日本医学放射線学会（以下「本学会」）の理事長（以下「理事長」）は、放射線診断専門医制度委員会（以下「診断専門医制度委員会」）が適格と認めた者を診断専門医として認定する。

第2章 診断専門医

第5条 専門医資格を取得後、医の倫理と医療の質、放射線生物学、医学物理学、放射線防護・安全管理、画像診断学、核医学、IVRに関して「放射線科専門医研修ガイド

ライン」に基づく診断専門医研修カリキュラムにより2年以上の研修終了後、診断専門医試験に合格した医師に対して、診断専門医の認定証を授与する。

第6条 日本医学放射線学会が別途分離認定する「放射線治療専門医」資格と「放射線診断専門医」資格を同時に有することはできない。

第3章 委員会

第7条 診断専門医制度の運営のため専門事項を審議する機関として、放射線診断専門医制度委員会（以下「診断専門医制度委員会」）を置く。

2 診断専門医制度委員会は、つぎの各項の委員をもって組織する。

- (1) 本学会理事会において選出された担当理事
- (2) 本学会代議員会において選出された候補者の中より、理事長が委嘱した委員
- (3) 第8条に規定する「地区診断専門医制度小委員会」の各委員長
- (4) その他、理事長が必要とする者若干名

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 診断専門医制度委員会に委員長および副委員長を置く。委員長は第2項第1号の担当理事をもって、副委員長は委員長の指名によりこれを定める。

5 診断専門医制度委員会は、委員長が招集するものとする。

6 診断専門医制度委員会は、次の各号の業務を行う。

- (1) 診断専門医制度の規程・細則の制定ならびに変更に関すること。
- (2) 専門医総合修練機関（以下「総合修練機関」）、専門医修練機関（以下「修練機関」）および放射線科専門医特殊修練機関（以下「特殊修練機関」）の認定に関すること。
- (3) 診断専門医試験の受験資格審査に関すること。
- (4) 診断専門医証書の作製、交付に関すること。
- (5) 診断専門医更新制度に関すること。
- (6) 診断専門医の取消し、およびこれの公表に関すること。
- (7) 指導管理責任者、研修指導医の認定に関すること。
- (8) その他の診断専門医制度に関すること。

第8条 委員会は、業務を円滑に遂行するために、下部組織として「診断専門医カリキュラム小委員会」、「診断専門医試験小委員会」、ならびに「地区診断専門医制度小委員会」などの小委員会を設置することができる。

第4章 診断専門医試験と診断専門医の認定

診断専門医試験の受験資格

第9条 次の各号の条件をすべて満たした者に診断専門医受験資格を与える。

- (1) 日本国の医師免許を有すること。
- (2) 医師法（昭和23年法律201号）第3条および第4条の規定に該当しないこと。
- (3) 申請時において放射線科専門医であり、放射線科専門医資格取得後2年以上の臨床経験を有すること。
- (4) 申請時において、5年以上本学会正会員であること。
- (5) 定められた研修期間、研修内容、研修施設等の条件を満たしていること。

研修期間

第10条 診断専門医受験資格を得るための研修期間は、専門医資格取得後、総合修練機

関または修練機関（診断・IVR、核医学）もしくは特殊修練機関（診断・IVR、核医学）での2年間以上とする。複数の機関で研修した場合は、研修期間の合計が定められた期間を充足するものであることを証明するに足りる各機関の証明書を必要とする。

- 2 専門医または診断専門医の受験資格を得るための研修期間として、特殊修練機関での研修期間は累計12か月を限度としてこれを認めることができる。ただし、専門医の受験資格を得るための研修期間として特殊修練機関での12か月が認められた場合、診断専門医の受験資格を得るための研修期間としてはこれを認めない。
- 3 大学院学生、研究生等については、在学期間の一部あるいは全部を研修期間として認めることがある。

研修内容

- 第11条 診断専門医受験資格を得るための研修内容は、本学会が認定した診断研修指導医のもとでの、医の倫理と医療の質、放射線生物学、医学物理学、放射線防護・安全管理、画像診断学、核医学、IVRの全ての分野における研修とする。
- 2 診断専門医受験資格を得るための研修の内容は、別途定める「放射線科専門医研修ガイドライン」において規定する。

診断専門医試験の受験手続

第12条 診断専門医試験を受けようとするものは、別に定める所定の書類に受験料を添えて期日までに、理事長に提出しなければならない。

診断専門医試験の実施

- 第13条 理事長は、診断専門医制度委員会が受験資格を認めた者に対して診断専門医試験を行なう。
- 2 診断専門医試験は毎年1回実施され、試験の期日等は学会ホームページ、学会誌などに公示される。
- 3 受験者には合否の最終決定のみが通知される。
- 4 専門医試験に不合格であったものも、第9条の受験資格を満たしていれば次年度以降も受験資格を有する。

診断専門医の認定および認定証の交付

第14条 理事長は、診断専門医制度委員会により診断専門医として適格と認められた者に対して、本学会理事会の議を経て、診断専門医と認定し、理事長名の認定証を交付する。

第5章 研修施設

診断専門医研修施設

第15条 診断専門医の研修施設は、総合修練機関または修練機関もしくは特殊修練機関とし、その認定基準は、「専門医総合修練機関認定基準」、「専門医修練機関認定基準」および「専門医特殊修練機関認定基準」に別途定める。

第6章 研修指導者

診断専門医研修指導者

第16条 指導者は、総合修練機関の研修教育責任者としての指導管理責任者、指導管理

責任者が不在あるいは実務執行不能となった場合にこれを代行する副指導管理責任者、修練機関の研修教育責任者としての指導管理者、直接指導する診断研修指導医から構成される。

- 2 指導管理責任者は、専門医を志す者に対する教育の責任者として、研修カリキュラムの策定、研修達成度評価を行う。
- 3 指導管理者は、専門医を志す者に対する教育の責任者として、総合修練機関で作成された研修カリキュラムの実施、当該施設における研修達成度評価を行う。
- 4 診断研修指導医は研修指導を行い、研修実績を評価する。

第7章 資格更新・取り消し・再認定

診断専門医の更新

第17条 診断専門医は5年毎に更新するものとし、更新に関する必要事項は診断専門医更新規程に定める。

診断専門医の取消し

第18条 診断専門医として認定された者が、つぎの各号のいずれかに該当する場合、理事長は認定を取り消すことができる。

- (1) 学会が定める診断専門医更新規程を満たさないとき。
- (2) 第12条に掲げる文書の記載事項に事実と重大な相違があり、診断専門医としての資格に欠けると判断されるとき。
- (3) 医師の資格を喪失したとき。
- (5) 本学会を退会したとき。
- (6) 診断専門医を辞退したとき。
- (7) 専門医としての体面を汚すような行為のあったとき。

再認定

第19条 診断専門医の資格を失った者が再認定を望む場合には、失効理由を添えて理事長へ文章にて再申請を行う。診断専門医制度委員会は、理事長からの委嘱を受けて再認定に必要なと思われる資料の提出を求め、審査し結果を理事長へ報告する。

第8章 規程の改廃

規程の改正

第20条 この規程は、理事会の決定により改正することができる。

附 則

- 1) この改正規程は、平成21年5月1日から施行する。
- 2) **診断専門医の選択**
 - (1) 旧専門医試験により、「放射線科専門医」を取得しており、継続して本学会の正会員であるものは、分離認定の「診断専門医」として申請できる。
 - (2) 診断専門医を選択しようとするものは、次回更新時まで、別に定める書類を添えて、理事長へ申請する。
 - (3) 理事長は、申請内容の審査を診断専門医制度委員会に委嘱する。
 - (4) 診断専門医制度委員会は申請内容を審査し、結果を理事長に報告する。
 - (5) 診断専門医制度委員会の答申を受け、理事長は「診断専門医」として認定する。

附 則

- 1) この改正規程は、平成27年4月16日から施行する。

